～住民主体の「通いの場」の
活動をされる方へ～

「通いの場」感染症対策
チェックポイント

1．感染症基本対策

- **「３つの密(密閉・密集・密接)」**を避ける!
- **「マスクの着用」**（運動は,無理せず負荷を下げたり休憩を取りましょう）
- **「手洗い」**（液体石けんを使って流水で手洗い）
- **「人と人との距離を確保」**参加者間は互いに手を伸ばし手が届く範囲以上(できるだけ２ｍ)空ける
- **こまめに換気**（30分に１回以上, ２方向換気, 季節に応じ服装にも配慮）
- 共有物品や頻回に手に触れる場所の**消毒**（ドアノブ等）
- 参加者の**健康観察の徹底**（参加日の朝に確認）
  発熱や風邪症状などある場合は,無理せず休む

2．会場利用時の注意点

- 飲食や食事を伴う場合,対面を避ける
- 活動時間を可能な限り短くする工夫
- ３密を考慮した会場選定(参加人数制限など)
- トイレ休憩や食事は全員一緒ではなく分散
- 参加者同士は対面を避け,活動時マイクを使用し極力大きな声を出さない
- 施設の使用会場以外への出入りは極力避ける

食事中は会話を控える

3．感染拡大（再度の自粛要請）に対する備え

- 少人数集団の「集う」場所の検討
- 自主練習ができるような声掛け（電話やSNSの活用）
  方法：屋外でのウォーキングや体操などの実施
- 自宅で自分でできる体操などのパンフレットや動画（DVD）などの活用

お問い合わせ

「通いの場」活動に関しては、事業を担当している管轄の地域包括支援センターや市区町村にお問い合わせください。

JPTA